

初の新司法試験行われる

本学から9人合格

法科大学院の修了者が挑んだ初の新司法試験の合格者が9月21日、法務省の司法試験委員会から発表された。本学の法科大学院は51人が受験し9人が合格＝氏名別項、合格率は18%だった。今年度の受験者は、2004年開設の法科大学院1期生のうち法学既修者向け2年コースの修了者。全国58法科大学院から2091人(途中退席の4人含む)が受験、48%にあたる1009人が合格した。来年は、法学未修者向け3年コース修了者に今回の試験の不合格者も加わる。旧試験も2010年まで新司法試験と並行して行われ、今年度は、11月に500—600人の合格者が発表される。



▲法科大学院・晴山一穂教授の授業風景

初の試験を終えて、平井宜雄院長に伺った。

人間性豊かな法曹へ さらなる学修積もう

法科大学院 平井宜雄院長に聞く

本学の法科大学院は開学以来、市民生活に根ざした「社会生活上の医師」あるいは強い責任感を持ち、ビジネスの先端的・国際的分野でも活躍できる法律家を目指し、院生も教員もひたむきに取り組んでまいりました。

今回の新司法試験では、修了者9人のみなさんが合格しました。心からお祝い申し上げます。今後は、さまざまな分野の人々の多様な要望に応える「人間性豊かな法曹」として活躍されることを切にお祈りいたします。今回惜しくも不合格となったみなさんには、合格にむけてさらに奮闘されますことを、期待しております。

「人間性豊かな法曹」とは、いかなる人間でしょうか。それは、議論によって問題解決ができることです。相手の言い分を理解し、根拠を持って主張し合意に導く。その積み重ねによって、共に発見したものを引き出し、規範を作っていく。見えないところに気づき、人々の要望を同一の視線ですくいあげ、解決する力量を持つ人間です。想像力を養う知的訓練が必要になります。

こういった人間こそ、本学の法科大学院が求める姿です。このような本大学院の理念を理解して、優秀な成績をあげて修了した多くの方々は、新司法試験も突破しております。本大学院の教育方針に、揺るぎがないことを確信しております。

今回の試験で本大学院は合格率においては全国の平均に及ばず、数字を見た限りでは、残念な結果となりました。何が原因か分析・究明し、今後に向けてどのように対応すべきか、長期的な目線で対策をとっていきます。

しかし、新司法試験合格のために、受験対策のみを重視するようになっては、法科大学院誕生の本来の意義に逆行します。確固とした理念に基づいて学修に打ち込むことが、何にもまして重要であることを、共通の認識としたいと思います。

初の新司法試験を終え、法科大学院の真価が問われていると心得ております。しかしながら本試験が法科大学院学修の成果を評価し、確認するという本来の目的において、果たして求められるものであったか。競争試験の色合いが濃く残り、改善点を指摘する声も聞かれます。より充実した内容の試験となることを希望しております。

新司法試験合格者(敬称略。カッコ内は出身大学)

鶴森 雄二(東京大学)
福嶋 正洋(中央大学)
野本 智之(横浜国立大学)
高橋 哲也(専修大学)
迫野 馨恵(専修大学)
鈴木 健三(法政大学)
三宅 貞信(立命館大学)
湯浅 文憲(國學院大学)
矢沢 孝征(東京大学)

懐かしい学び舎 生田の杜で再会を

ホームカミングデー2006



専修大学創立130年記念事業の一環として、「ホームカミングデー2006」(専修大学・専修大学校友会主催)が鳳祭期間中の11月4日(土)、生田キャンパスで行われます。

歓迎記念セレモニーでは専修大学全学応援団(チアリーダー演舞)が、卒業生によるライブでは、ジャズボーカリストのやまもときょうこさんが登場。総合体育館や図書館の施設見学、親と子のための進学相談会、卒業生対象の社会人進学相談会も開催されます。クラス、クラブでの同期会の集いには教室を開放します【お申し込みは校友課まで。FAX03(3265)7089】。

▼日時=11月4日(土)10時~14時

- ▼お楽しみ抽選会・軽食つき(抽選券を1枚3000円で販売)
- ▼受付=9時30分~120年記念館1階
- ▼問い合わせ ホームカミングデー実行委員会事務局 電話 03(3265)6821

※駐車場の用意がございませんのでお車での来場はご遠慮ください。向ヶ丘遊園駅北口より無料直通バスをご利用ください。

第2回 多摩区・3大学コンサート

スウィングジャズ研究会 “憩いのひと時” を演出

「2006多摩区・3大学連携協議会コンサート」

が9月29日、川崎市の多摩市民館大ホールで開催された。このコンサートは、地域との連携に積極的に取り組む同協議会の活動の一環として、川崎市多摩区内にキャンパスを持つ3大学(専修・明治・日本女子)のさまざまなジャンルの音楽サークルが出演。2月には同協議会の設立を記念してコンサートが行われ、大好評を博した。

今回、本学からはスウィングジャズ研究会(グリーン・サウンズ・オーケストラ=写真)が出演し、スウィングとシックな響きで地域の皆さんに憩いのひと時

を提供した。曲はイン・ザ・ムード、ムーン・リバーなど耳になじんだスタンダードナンバーをそろえ、流麗なピアノソロには大きな拍手が寄せられた。コンサートは引き続き日本女子大学、明治大学と進行し、最後に3大学の校歌を演奏してエール交換を行った。グリーン・サウンズ・オーケストラは、鳳祭ではジャズ喫茶を催し、店内でライブ演奏の予定。

